

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2016 夏
vol. 12



仲間と力を合わせて湖面をすすむカヌー。パドルをとめれば、水面をたゆたう贅沢な時間に。(亀山湖)

も く じ

□一灯照隅	…2	□ろくすけ日和	…10
□指定管理の現場から	…3	「ろくすけ付近の名山たち」	
□3～5月の現場レポート	…4	□千葉シニア自然大学	
・主催事業		「春季宿泊研修～初の銚子方面にて～」	
・ネットワーク・受託事業		□みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業		□会員校・指定管理施設紹介	…12
□こんなことにチャレンジしています！	…7	□スタッフのつぶやき	
□7月～10月 CNS ネットワークイベント情報	…8		

一灯照隅

理事長 飯田 洋

先日、NHKテレビで気象庁が発表した長期天気予報がありましたが、それによると今年は、ここ数年続いていたエルニーニョ現象が収束し、ラニーニャ現象に変化して来るとの予報でした。

近年、世界各地で異常気象が発生し、甚大な自然災害を発生させている原因の一つが、こうした現象によるものだと言われています。

今後、発生するラニーニャ現象は、台風の発生回数が少なくなるとの解説でしたが、台風は災害を発生させる事が有る反面、我々の生活に必要な飲料水や農作物の生育などには恵みの雨ともなります。

もう一つの自然現象として気にかかるものは、地震です。4月14日、16日に熊本県や大分県で発生した「熊本地震」は、未だに余震が多発し、収まる気配が見られません。

5年前の「東日本大震災」に続いての大規模地震は、常に地殻変動している日本列島の宿命とは言え、亡くなられた方や被災された皆様に心からのお悔やみとお見舞いを申し上げたいと思います。

我が自然学校は、正に自然を相手に日々活動することを仕事しておりますが、人間の力ではどうにもならない自然の力にもっと敬意を払い、謙虚に向き合っていくべきと思っています。



「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

宿泊学習繁忙期を迎えた大房岬です。日常生活を快適で便利な環境で過ごす私たちは、自然環境が豊かで動植物の影響を受けやすい、いわゆる田舎の生活環境を不便や苦痛として受け止める傾向が強くなります。

多種多様な昆虫に出会うこと、雨に降られることなどは滞在中のマイナス印象につながる人が多いです。あるクモの研究者の方からこんな話を聞きました。あの容姿からクモは大概嫌われませぬ。しかし、クモの生態を知れば知るほど、驚くほど神秘的な生態を持つそうです。実は非常にありがたい益虫です。

また、雨の日にシートで屋根を張って頑張って火を起こして食事をつくり食べる達成感や連帯感がもたらす教育的効果は計り知れません。

私たちが利用者みなさまに自然の中で不便を楽しみ、そこから学ぶ醍醐味を上手に伝えなければなりません。このために私たちは、このような施設をお預かりし運営していることを忘れてはならないと思っています。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

6月になり、梅雨の時期がやってきました。ジメジメした日が続く、嫌われることもあります。梅雨の間には平均して年間降雨量の5分の1程度の降水量があります。もし梅雨がなかったら、当然水不足になりますし、農作物への影響も大きくなります。

たくさんの雲が出る時期だからこそ、日々めまぐるしく移り変わる空を眺めてみませんか？雲の様子や生き物の動きからその後の天気を予想する「ことわざ」が日本にはたくさんあります。有名なのは「夕焼けは晴れ」。基本的に、天気は西から東へ移動しているため、夕焼けがきれいに見られれば西に雨をもたらす雲がないということが由来です。



雨の前触れといわれる日暈(ひがさ)

他にも「雲が早く動くときは天気が悪くなる」ということわざがあります。低気圧が近づくと上空に強い風が吹き、雲が早く動くようになります。特に灰色の低層の雲が早く動き出したときは雨や台風の接近の兆しだと言われていています。

「晴れ」「曇り」「雨」と天気の変化しやすい時期だからこそ「空」のウォッチングがおすすめです。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 山口亮介

この4月から大房岬自然公園に公園長として勤務しています。全く知らない土地で、次から次へと押し寄せる仕事に悪戦苦闘。あっという間に日々が過ぎてしまいました。

思えば、春を迎えて公園の花々が一齐に咲き誇り、昆虫や動物たちも暖かくなって元気になり、暑くもなく寒くもない穏やかな気候なのに、ゴールデンウィークの対応に追われ、公園の魅力あふれる季節を、ただただ忙しく過ごしてしまっただけになってしまった事を後悔しています。

とにかく、この公園の魅力をいかに「伝える」か、それが僕の使命なのだなどと痛感しています。公園を訪れた人たちに伝え、この公園を知らない人たちにも伝えることによって足を運んでもらい…。

そうはいっても僕自身も気づいていない魅力もまだまだたくさん。まずは僕自身が気づくことですね。利用者の方に、スタッフも公園の魅力のひとつだ、と言ってもらえるように頑張ります。



③④⑤月の現場レポート 《主催事業》



週末・子ども

春の森でイースターキャンプ

～復活を祝う「イースター」でお祭りキャンプ！～

① 3/19 (土)～20 (日) 1泊2日 施設泊 君津亀山少年自然の家 年中～小学6年生
◆手作りピザ/エッグペイント/エッグハント



仲間と協力しながらイースターというひとつのイベントを素敵なものに作り上げて楽しむことができました。

クッキーもピザもひとつひとつの作業を丁寧にこなし、全員が力を合わせてクッキングに取り組みました。自分たちの班が終わったら自由時間！…ではなく、自主的に他の班を手伝う姿がとても印象的でした。

実はお料理が苦手、工作が苦手という声も聞こえましたが、苦手なことにも積極的に挑戦し、いつの間にか夢中になっていたり。

そんなみんなを見ていて「自分から楽しもうとすること」「楽しむ力」が大切なのだと改めて実感しました。

週末・子ども

春の里山里海キャンプ

～春爛漫！南房総の田舎に行こう！～

3/26 (土)～28 (月) 2泊3日 古民宿「ろくすけ」泊 小学生1～6年生
◆海岸ハイキング/ツリーデッキ/焚き火/石釜でピザ



このキャンプは今年度からスタートした事業で、南房総市平久里「古民家ろくすけ」で実施しました。雨の影響が心配されましたが、日差しにも恵まれ、3日間春の里山を舞台に思う存分楽しむことが出来ました。

特別なプログラムは必要ないと思っています。目の前の環境が子どもの創造をかきたてます。大人も一緒に遊び、また見守る関係を大切にしています。

山野草を摘み食べた感想は「道の近くに生えている草も食べられるんだ。」食べてはいけない毒草の話もしました。体感から共感へ、そして感動につながる。そこが一番のポイントとだと考えます。

週末・子ども

カヌー&フィッシングキャンプ

～カヌーや釣りが初めてでも大丈夫！～

4/29 (金)～5/1 (日) 2泊3日 施設泊 千葉県立君津亀山少年自然の家 小学生
◆カヌーツーリング/ワイルド釣り/湖畔散策・あそび



参加者17名、班の垣根を越え皆が和気あいあいと関わりあい、天候にも恵まれるのびのびとキャンプをすすめることが出来ました。

君津市にある自然豊かな亀山湖をフィールドに活動しました。カヌーでは、3人乗りカヌーで「右！左！」と息を合わせ、お友達と協力しながら、前に前に漕ぎ進めていました。時には風に身を任せ、広大な景色に目を向け、その感動や発見を分かち合いました。

釣りでは、魚と一対一の真剣勝負。2人組で協力しながらたくさん魚を釣り上げていました。

週末・子ども

とびだせ!冒険の森シリーズ ～とことん昆虫編～

～昆虫採集やライトトラップでとことん観察してみよう!～

5/3(火)～5(木) 2泊3日 施設泊 千葉県立君津亀山少年自然の家 年中～小学生

◆昆虫採集/ライトトラップ/ハンバーグ作り



参加者15名、スタッフ5名。

昆虫類を中心に生き物観察をしたり、野外炊飯や外あそびもして、新緑の季節の森を楽しむことができました。

昆虫採集は森の中の観察だけではなく、トラップ作りや図鑑調べ、スライドショーなどを通して様々な角度から生き物について学びました。

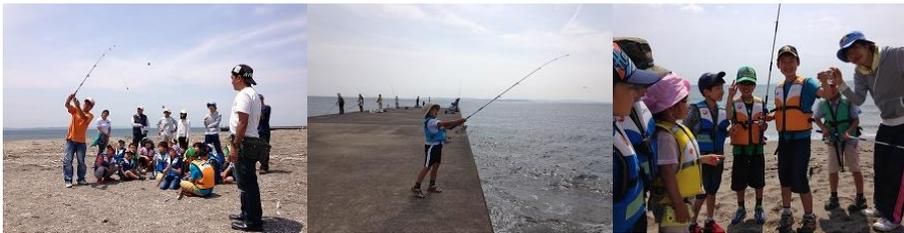
また、春の星座を観察したり、鯉のぼりをあげたりと、この季節ならではのことも体験することができました。最後まで元気な子どもでした。

週末・子ども

房総日帰り探検隊「はじめての海釣り シロギス釣り」

～日帰りで千葉の里山・里海を遊びたおそう!～

5/14(土) 日帰り 富津市 大貫漁港



天候は快晴! はじめてのシロギス釣りに挑戦しました。

リール竿の投げ方を練習し、いざ防波堤へ。シロギスは釣れませんが、イワシをゲットした子がいました。

本当にみんな釣りが好きだね。また行こう!

大人(シニア)

「春爛満の幕山ハイキング」

～春爛満の湯河原・幕山でハイキング。梅園も楽しみなコースです。～

3/12(土) 日帰り 神奈川県湯河原町 幕山



天候は、曇り! 暑くもなくハイキング日和です。

湯河原は温暖でハイキングには最適な環境です。

梅園は時期が少し過ぎていましたが、のんびりと山頂近くで過ごす時間も取れました。

大人(シニア)

「古道を歩く①鋸山ハイキング」

2/6(土) 日帰り 千葉県富津市、安房郡鋸南町周辺



薄曇りの浜金谷からスタート。上総と安房の国を分ける屏風のような群界尾根を巡る全7回の1回目は、鋸山を歩きました。

石切り場や新展望台と見どころがたくさん。

歴史にも触れたコースに「いい山だな」との感想をいただきました。

《ネットワーク・受託事業》



企業連携事業

「米づくりをしたいのですが」

マーケティングビジネスを展開されている(株)マクロミル様からお問い合わせをいただいたのは3月のことでした。数ある田んぼや団体の中からどこをご紹介するのがよいだろうと考えながらご要望を伺う中で、「相手の状況を理解し、想定外のイベントにどう対処しながら育てていくか、その過程が自分たちの仕事にもつながると考えている」というお話がありました。そのご要望に応えられる環境として、私たちが古民家ろくすけのある南房総市平久里で一緒に活動している平群ツーリズム協議会のメンバー川名さんの田んぼを紹介し、米作りを行うことになりました。



田植えには24名の社員さんが参加され(殆どの方が初体験)、協議会メンバーの指導のもと無事に終了。食事も南房総ならではのものを用意させていただき、皆さんにもご満足いただくことができました。

これから稲刈りの10月頭まで毎月草取り作業です。皆さん、がんばってくださいね!

(文:佐藤玲子/かつを)



会員校イベントサポート事業

環南みんなの楽校①「そら豆の収穫&ピザ作り&新緑のハイキング」



「環南みんなの楽校」では、富津市にある旧環南小学校を活用し、地域の方々が地域の子どもや都心部の子どもを対象に、年間通して様々なイベントを行っております。

5月22日(日)には「そら豆の収穫&ピザ作り&新緑のハイキング」が開催され、2歳から68歳まで38名の方にご参加いただきました。そら豆の収穫体験では、どうやって収穫をすれば良いのかの説明をしっかりと聞き、子どもも一生懸命に収穫しました。

ピザ作りでは粉から生地を作り、とろとろチーズの美味しいピザをお腹いっぱい食べました。

昼食後は往復4kmの距離を、新緑とおしゃべりを楽しみながら歩きました。休憩中におやつで出されたそら豆も、とても好評でした。

次回は6月19日に、ジャガイモの収穫と生き物探しを行います。また参加者のみなさんと一緒に楽しい時間を過ごせることを楽しみにしております。

(文:齋藤みゆき/みら)



プログラム指導事業

「岩井民宿泊 夜プログラム:レクリエーション指導」

このたび、岩井民宿に宿泊した横浜市の中1年生の皆さんを対象に、夜の時間でレクリエーションを実施しました。

生徒さんの数はなんと363人。かなりの大人数でしたが、一学年が一体となった様子は非常に素晴らしいものでした。

中学生というと思春期真っ只中で難しい時期ですが、和気あいあいとして、皆で楽しもうという雰囲気が強く印象に残りました。もちろんレクリエーションは大盛り上がり。

帰り際にはスタッフ全員とハイタッチをしてくれるほどでした。



私たちは様々な方を対象にレクリエーションを実施しますが、参加者の様子は毎回違います。でも、どんな雰囲気でもいつの間にか笑顔になってしまうのが、レクリエーションの素晴らしいところなんです。

「仲間づくり」「気分転換」「軽い運動」等、目的はそれぞれだと思いますが、ぜひ、やってみませんか? 私たちもお力になれば幸いです。

(文:花嶋桃子/ぼによ)

■こんな取り組みもしています■

みんなでつくろう 10m太巻き寿司! in サンライズ九十九里

CNS会員校のピーちゃんクラブで4月のさくらの会に実施した10m太巻き寿司づくり体験が大好評に終わりました。これをまた北総事業部会でやってみようと、10月にサンライズ九十九里で開催予定!ご期待ください♪

《指定管理施設の主催事業》

南房総市大房岬自然の家

「磯の生き物発見ツアー」

南房総の海は、暖かい黒潮の影響により、温帯域に見られる生き物だけではなく、南方系の生き物も観察できます。磯の生き物の発見ツアーは、そんな生き物が豊かな海で、海の面白さを実感し、生き物達に触れてもらう事業です。潮がひいて磯場での生き物が観察しやすい時期を選定し実施しています。

春は四季の中で一番大きく潮がひく季節で、海藻が繁茂し、産卵シーズンも相まって、生き物が躍動しています。全6回実施し、たくさんの方に参加していただきました。そして、たくさん生き物に出会いました。

初めて見る生き物やお馴染みの生き物などに実際触れて感触を感じたり、彼らの生息環境をのぞいて、暮らしぶりを観察できました。

何よりも実際に海を体感するという大切さを知ってもらえたのではないのでしょうか。海の中は陸上とは一味違った世界が広がっています。海の不思議や楽しさを味わうために海に出かけてみませんか？

(文：香山正幸/かやまん)



千葉県立大房岬自然公園

「夜の探検ツアー」

暗い森の中は見に行くのはちょっとこわいと思われがちですが、暗闇の中に住んでいるたくさんの昆虫や動物に出会えるおもしろい場所でもあります。

大房岬自然公園で主催している「夜の岬探検ツアー」では、大房岬に詳しいスタッフと生き物を探しながら森の中を探検します。園内の戦跡を住処とするコウモリ、のんびりと散策路を歩き回るアナグマ、遊水池や滝に隠れるアカテガニ、岬に残る戦争の遺跡をメインとした4つのツアーを行っています。

今年の1回目のツアーはアナグマのツアーをゴールドenウィークに開催しました。アナグマが掘った穴の観察やためフン

という習性のあるアナグマたちのトイレを見てみたりと、普段見ることの出来ない森の中を元気な親子と探検しました。

子どもが、動物の光る目を目印に懐中電灯で茂みを照らして真剣になってアナグマを探してくれたのが印象的でした。本イベントは、夏休みの始めから終わりまで開催予定です。

(文：飯塚伊代/まりも)



千葉県立君津亀山少年自然の家

「森のアドベンチャーチャレンジ」

5月15日(日)に平成28年度第1回目の森っこレンジャーを実施しました。42名の子どもが参加してくれました。今回の森っこレンジャーはきみかめの森の中を地図とチェックカードを持って歩く、森のアドベンチャーチャレンジを行いました。

アドベンチャーポイントでは間伐に挑戦し、直径20cm、高さ6mほどの木をノコギリで伐採しました。班のメンバーで協力することで、なんとか切り倒すことができました。すべての班がアドベンチャーポイントをクリアできました。大きな木が倒れた瞬間は歓声が上がリ、みんなの顔は達成感に満ち溢れていました。

森は手入れをしないと、太陽の光が入らなくなってしまう。間伐を行うことで下草が生え、木ものびのびと育つようになり、森全体が元気になります。

子どもはヒトと森の関係を学び、課題を通じて森を守るレンジャーとしての仕事を果たしました。次回の森っこレンジャーは6月19日(日)。今回間伐した木材を利用して火起こしをします！

(文：花香皓仁/ハナ)



こんなことにチャレンジしています！

「ちば天文宇宙講座一星空案内人(星のソムリエ)になろう！」

～千葉県初の星空案内人講座～

おいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれるのが「星空案内人」です。星空案内人には資格認定制度があり、その資格を得るための養成講座が千葉シニア自然大学の専門コースとして今年度からスタートしました。

千葉シニア自然大学が開校して5年目になりますが、その講座の中で高評でした天文・宇宙の講座を担当していただいた高梨直紘先生のご指導のもと「ちば天文宇宙講座」を開講する運びとなりました。初回の今年度はシニア自然大学の修生生のほか、20代の若い人から幅広い年齢層の26名の方に応募いただきました。

10月までの8回の講座では、天文学の初歩的な知識の習得をはじめ、望遠鏡のしくみや操作実習、星空観察の実習などのほか、君津亀山少年自然の家や千葉市科学館の協力で、プラネタリウムでの実習なども予定しております。そして講座修了後は「準案内人」の資格を取得し、その後のスキルアップ講座や

観望会などで経験を積むことで、「星空案内人」の資格を取得することになります。

この講座では受講される皆さまの目的も様々なようにお見受けします。星空案内人の資格を取得して、観望会やプラネタリウムなどで案内人になることを目指す方ばかりではありません。夜空を眺めて星や宇宙の話の子や孫や周りの人にできたら、なんと素晴らしいことでしょう。

この講座を通して一人でも多くの方に星空の楽しさを味わっていただけたらと思います。

(文：北原道郎/北さん)





7月

野菜作り・夏

美味しい野菜づくりは種播きから！大豆の種まき&夏野菜の収穫体験♪

【開催日】7月16日(土)
 【対象】どなたでも(未就学児・小学生は親同伴必須)
 【参加費】大人2,000円 小学生1,000円※未就学児は無料
 【会場】上総自然学校(袖ヶ浦市)
 【連絡先】上総自然学校
 TEL: 0438-75-7414 E-mail: satoyama@shinko-ji.jp

里うみ里やま自然体験

期間中日程を選んで参加する田舎生活体験プログラム！

【開催日】7月22日(金)~27日(水)
 【対象】小学生~中学生
 【参加費】1泊2日18,000円、会員16,000円
 ※以後1日毎に5,000円
 【会場】千葉県鋸南町
 【連絡先】ELFIN 体験共育くらぶ
 TEL: 0470-55-8322 E-mail: toi-awase@elfin-ee.com

親子スノーケリング

親子で楽しむスノーケリング体験！

【開催日】7月23日(土)・24日(日)
 【対象】小学4年生~中学生の親子
 【参加費】5,500円
 【会場】千葉県鋸南町
 【連絡先】ELFIN 体験共育くらぶ
 TEL: 0470-55-8322 E-mail: toi-awase@elfin-ee.com

夏休みこども自然教室

ゼミのぬけがらやトンボなどの生き物さがしと、森で拾った素材を板に張り付けた工作体験♪大人も参加できます。

【開催日】7月24日(日)
 【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)
 【参加費】300円(森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額)
 【会場】内浦山県民の森(鴨川市)
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

動物やパズルを作ろう

電動糸のこぎり盤を使って、動物の切り抜きやパズルを作ろう♪

【開催日】7月30日(土)
 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
 【参加費】1,100円
 【会場】館山野鳥の森(館山市)
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

里山で思い出作り~懐かしい田舎あそびを体験

都会の近くであそぼう！プランA: 里山を歩いて自然観察。プランB: 夏休みの工作教室と青竹の流しそうめん。

【開催日】A: 7月3日(日)、8月6日(土)、27日(土)
 B: 7月24日(日)、8月13日(土)、20(土)
 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
 【参加費】大人2,200円小学生以下1,500円※未就学児は無料
 【会場】「わたしの田舎」谷当工房(千葉市)
 【連絡先】「わたしの田舎」谷当工房
 TEL: 043-239-0645



8月

夏休みネイチャークラフト教室

自然の素材を使った工作体験！土台を選んでオリジナル作品を♪

【開催日】8月1日(月)~8月31日(水)
 【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)
 【参加費】①板(四角)600円 ②板(丸)300円
 ③リース(大)1,200円 ④リース(小)800円
 【会場】内浦山県民の森(鴨川市)
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

里山の昆虫探し

昆虫観察にもっとも適した夜と早朝に里山で昆虫観察をしよう★

【開催日】8月3日(水)~4日(木)
 【対象】小学生以上(小学生は親同伴必須)
 【参加費】大人4,000円 小学生2,000円
 【会場】上総自然学校(袖ヶ浦市)
 【連絡先】上総自然学校
 TEL: 0438-75-7414 E-mail: satoyama@shinko-ji.jp

第7回 アート・クラフト縁日

木工・陶芸・手芸に竹、革細工などの手作り作家さんが大集合！

県内最大級の屋内型クラフトイベント♪
 【開催日】8月13日(土)、14日(日)
 【対象】お子さまから大人まで
 【参加費】入場無料(体験料は別途かかります)
 【会場】かずさアカデミアホール(木更津市)
 【連絡先】株式会社かずさアカデミアパーク
 TEL: 0438-20-5555

稲刈り体験&流しそうめん

稲をひとつひとつ手で刈り取る…親子で楽しむ自然体験！秋にはおひとり1kgのお米をプレゼント♪

【開催日】8月27日(土)
 【対象】親子
 【参加費】会員4,000円、一般4,500円
 【会場】笠森キャンプ場(長南町)
 【連絡先】ヤックス自然学校
 TEL: 043-202-7070 E-mail: yacs-camp@chiba-ns.net

オリジナル時計作り

文字盤を自然素材(木の実等)や小鳥の切り抜きに変えて、オリジナルの掛け時計を作ろう♪

【開催日】8月27日(土)
 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
 【参加費】1,600円
 【会場】館山野鳥の森(館山市)
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

ドルフィンキャンプみくらしま

イルカの棲む島「御蔵島」で、野生のイルカと泳ぎ、巨樹の森を歩こう！

【開催日】8月28日(日)~30日(火)
 【対象】小学生4年生~大人 ※シュノーケリング経験者
 【参加費】小学生・中学生52,000円、高校生以上46,000円
 【会場】東京都御蔵島
 【連絡先】ELFIN 体験共育くらぶ
 TEL: 0470-55-8322 E-mail: toi-awase@elfin-ee.com



9月

クラフトテープを使ったカゴ作り（初級編）

クラフトテープを使ってカゴを作ろう♪プチトートバック★

- 【開催日】9月10日（土）
- 【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
- 【参加費】900円
- 【会場】館山野鳥の森（館山市）
- 【連絡先】館山野鳥の森
- TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

谷津田のお米作り～稲刈り～

たわわに実った稲穂を刈ろう！はぎ掛け（天日干し）もやります。

- 【開催日】9月9日（土）&10日（日）※各日帰り
- 【対象】どなたでも（未就学児・小学生は親同伴必須）
- 【参加費】大人2,000円 小学生1,000円※未就学児は無料
- 【会場】上総自然学校（袖ヶ浦市）
- 【連絡先】上総自然学校
- TEL：0438-75-7414 E-mail：satoyama@shinko-ji.jp

カウボーイキャンプ（ヤックス会員限定）

手綱を持って、自分で馬を操る！練習したら、田園風景の中へ外乗りへGO！

- 【開催日】9月10日（土）～11日（日）
- 【対象】小学生・中学生
- 【参加費】会員21,800円
- 【会場】ピックマウンテンランチ（静岡県御殿場市）
- 【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校予約センター
- TEL：043-307-1211
- E-mail：yacs-camp@aroma.ocn.ne.jp

カヌー&フィッシングキャンプ

亀山湖で漕いで漕いで釣りまくり！カヌー初挑戦でも大丈夫。湖の奥まで出発だ！

- 【開催日】9月17日（土）～19日（月祝）
- 【対象】小学生
- 【参加費】会員28,000円、一般31,000円
- 【会場】君津亀山少年自然の家、亀山湖
- 【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター
- TEL：043-224-1400
- E-mail：cns-camp@aroma.ocn.ne.jp

バーニングアート

電熱ペンを使い木材を焦がして絵を描こう♪

- 【開催日】9月24日（土）
- 【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
- 【参加費】1,100円
- 【会場】館山野鳥の森（館山市）
- 【連絡先】館山野鳥の森
- TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

みんなでキャンプ

初心者でも安心！テント張りから野外炊事、箸作り、ナイトウォッチング、ネイチャーゲームなどもりだくさんの2日間♪

- 【開催日】9月24日（土）～25日（日）
- 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
- 【参加費】大人3,600円 4才～中学生2,200円
- 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
- 【連絡先】内浦山県民の森
- TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822



10月

トンボの観察会

里山に生息するいろんなトンボを観察しよう！

- 【開催日】10月1日（土）
- 【対象】どなたでも（未就学児・小学生は親同伴必須）
- 【参加費】500円 ※未就学児は無料
- 【会場】上総自然学校（袖ヶ浦市）
- 【連絡先】上総自然学校
- TEL：0438-75-7414 E-mail：satoyama@shinko-ji.jp

房総日帰り探検隊！②防波堤から五目釣りに挑戦

小学生向けの日帰りプログラム第二弾！釣りを楽しもう♪

- 【開催日】10月1日（土） 予備日2日（日）
- 【対象】小学生
- 【参加費】会員5,000円、一般6,000円
- 【会場】富津市大貫港
- 【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター
- TEL：043-244-1400
- E-mail：cns-camp@aroma.ocn.ne.jp

秋の草木染め『藍染め』

古くから愛されてきた藍を使ってストールを染めます。好きな絞りで模様を入れて自分だけの作品を楽しもう♪

- 【開催日】10月2日（日）
- 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
- 【参加費】1,600円（森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額）
- 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
- 【連絡先】内浦山県民の森
- TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

『房総のやまあるき』より「鴨川松島から魚見塚」

内田栄一氏の著書『房総のやまあるき』より「鴨川松島から魚見塚」コースを、内田氏と一緒に歩きます。約10km。

- 【開催日】10月6日（木）
- 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
- 【参加費】1,500円（森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額）
- 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
- 【連絡先】内浦山県民の森
- TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

野菜作り・秋

秋野菜の収穫体験&種播きをしよう♪

- 【開催日】10月15日（土）
- 【対象】どなたでも（未就学児・小学生は親同伴必須）
- 【参加費】大人2,000円 小学生1,000円※未就学児は無料
- 【会場】上総自然学校（袖ヶ浦市）
- 【連絡先】上総自然学校
- TEL：0438-75-7414 E-mail：satoyama@shinko-ji.jp

森のハロウィンキャンプ

森の素材で仮装を作り、オレンジカボチャでランタンを作って、ハロウィンパーティーを楽しもう★

- 【開催日】10月29日（土）～30日（日）
- 【対象】幼児（年中・年長）～小学生
- 【参加費】会員10,000円、一般13,000円
- 【会場】君津亀山少年自然の家
- 【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター
- TEL：043-224-1400

他にも楽しいイベントもりだくさん！

Webをチェック！ 検索

● ろくすけ日和『ろくすけ付近の名山たち』

千葉自然学校では、築180年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンブレADERの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

皆さんこんにちは。6月を迎え、日に日にろくすけの庭の緑が濃くなってきました。これから梅雨を迎え、より一層植物も生長することでしょう。草刈に追われる日々がやってきますが、草刈り後の冷たい麦茶を楽しみに頑張っていこうと思います。

さて、そんな緑の変化はろくすけ周辺の山々にもあらわれています。先日まで萌木色だった木々もいまではすっかり濃い緑へ変化し、雄々しい姿を見せてくれています。ろくすけ周辺には「富山」「伊予ヶ岳」「御殿山」といった山々があります。この三つは総称として「南房総三名山」と呼ばれ、土日ともなると多くのハイキング客が訪れる山となっています。どの山も標高は330～360mほどで、標高はあまり高くはありませんが、1時間～2時間登れば山頂に到着するので、お手軽登山として人気を集めています。

山頂からは他の山々や下の集落、東京湾の景色、空気が澄んでいれば富士山が一望できます。また、低山といえども急登あり、岩登りありというアドベンチャー要素や、季節の花々が道を彩る癒しポイントなど、変化に富んだ山々となっています。

個人的には一番マイナーな御殿山（御殿山ファンには怒られそうですが…）から見る景色がお気に入りです。山頂からは二つこぶの富山、岩場が切り立った伊予ヶ岳、また両サイドには東京湾と太平洋が広がります。休みの日はトレーニングがてら登ったり、山頂でランチを楽しんでいます。

これからの暑い時期は低山登山に向いていないと言われていますが、木陰は涼しく、夏の植物を楽しめるので個人的には楽しいかなと思います。でもどの山も途中で水分補給が出来ませんので、山に登る際は水分をしっかり持って行って下さい！

そして登山帰りにふらりとろくすけの庭で休憩でもいかがですか？お待ちしております。

（文：かやぶき屋根の古民家ろくすけ住人 山崎大地/だいすけ）



● 千葉シニア自然大学

「春季宿泊研修」～初の銚子方面にて～

今年度の春季宿泊研修は、第5期生を中心に、3・4期生も4名加わっていただき、総勢21名にて6月2日～3日の2日間にわたり九十九里・銚子方面で行われました。

この4年間は、春は南房総、秋は1期から3期が長野県小諸、4期が群馬県赤城と、県外にて実施してきましたが、受講生のみなさんは意外と千葉県内をあまり良く知らない方も多いと聞き、今年度は春・秋とも県内で実施することとしました。

幸いにも2日間とも素晴らしい好天に恵まれ、大網の「本国寺」（宮谷壇林）を訪ね、宿泊場所の「サンライズ九十九里」では、地域の歴史民俗を学びました。また、サンライズ九十九里はその名の通り海から昇る朝日が美しく見られる場所とのことで、翌朝4時過ぎの水平線から昇る朝日に皆さんも感動していました。

2日目は、5年前の東日本大震災で大変な津波被害に襲われた飯岡にて、千葉科学大学船倉教授のご案内と説明による、被災地の教訓を学びました。その後銚子市に入って、地元ボランティアガイドが案内する「屏風ヶ浦ジオサイトウォーキングツアー」に参加し、「地球の丸く見える丘」など初めての銚子を堪能し、最後は「ヤマサ醤油」の工場見学をして帰途につきました。

（文：小谷賢彦）



みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの郷土料理のお話～

「ろくすけ」で片づけをしていたら、「明日の田植えの昼ご飯に使ったら…」と収穫したてのグリーンピースを沢山いただいた。「この辺りでは米の3割ぐらい豆を入れるんだよ。もち米を少し入れるとおいしいよ！」と教えてもらった。

早速、翌日の山田地区（南房総市平群）の棚田で、都内のIT企業の社員による「稲作プロジェクト」でおにぎりにして食べてもらった。ゴロゴロと青豆の入った大きなおにぎりは大好評だった。

そういえば、千葉の郷土料理に「豆茶の子」、「煮茶の子」と豆ごはんがある。「豆茶の子」は米1升に2合くらいの炒り大豆を入れて炊き上げたもので、「ねんねこ茶の子」とも呼ばれ、妊婦が出産後、赤ちゃんに産湯を使わせた後に、豆で健康に育つようにと祝って食べたといわれている。

「煮茶の子」はもち米に1割のうるち米を入れ、ささげを加えて煮たお赤飯で家や地域によっては何種類もの豆が入っている。

まめで暮らせるようにとの願いを込めて、保存もでき、栄養補強もできるたっぷりと豆の入ったご飯は祝いやも日の何よりのご馳走だったに違いない。

炊飯器のスイッチを押すだけの、知恵と思いやりを忘れた日々を反省させられた初夏の出来事だった。

（文：遠藤陽子/サニー）



松田料理長のおすすめレシピ～南房総の郷土料理～

「夏の南房総の郷土料理」

○イソツピの味噌汁

イソツピとは、シウジンガニの房総での呼び方で、夜に防波堤などでとれる。

<作り方>

イソツピを水で洗い半分に切ってから、鍋に入れて水から沸騰させてやり、沸騰したら酒少々と味噌を入れて、最後に刻んだ葱を入れて出来上がり。

（房総では、塩茹でしたものをそのまま食べるのも主流である）

○みずなます

みずなますとは、夏に飲む魚を使った冷製の味噌汁のこと。

<作り方>

アジやイサキなどの魚を三枚に卸して、中骨と腹骨と皮を取り除いて身の部分を刻んで叩き葱と大葉の刻んだものと混ぜ合わせる。

味噌を水で溶いて、氷を入れ冷たい味噌汁をつくり、先ほどの魚のすり身を入れて、お好みで玉葱のスライスや胡瓜を入れて出来上がり。

○ところてん

房総では、春にテングサを取り洗って、乾燥させて保存する。

<作り方>

テングサ100gを洗い、鍋に水を4500ccとテングサを入れて、煮立ったら弱火で30分くらい煮る。30分たったら、水1500ccと酢100ccを入れてさらに30分煮てお好みの硬さにして、バットに流して、冷めたら冷蔵庫に入れて出来上がり。

●団体会員（37団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、鴨川陶芸館(株)ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森、(有)みねおかいきいき館、(一財)千葉県観光公社、上総自然学校、NPO 法人安房文化遺産フォーラム、(株)かずさアカデミアパーク、食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、千葉県酪農のさと、ぬく森くらぶ、自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock(ライブストック)、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校、NPO 法人里山会(勝浦エンゼルアドベンチャーランド)、千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ、NPO 法人ちば里山センター、森の時計・自然工夫塾、ELFIN 体験共育くらぶ、NPO 法人千葉・草原のこころファーム、森のようちえんはっぴー、環南みんなの楽校、(一財)千葉県環境財団、(有)銚子海洋研究所、東京クラシッククラブ

●賛助会員（6団体）

館山日東バス株式会社、(財)ちば国際コンベンションビューロー、株式会社富楽里とみやま、株式会社HMC 東京 旅行事業部、スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬自然の家(千葉県の施設として平成17年9月～平成20年3月)
(南房総市の施設として平成20年4月～)
- ・千葉県立大房岬自然公園(平成18年4月～)
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家(平成20年4月～)



千葉県立大房岬自然公園



南房総市大房岬自然の家



千葉県立君津亀山少年自然の家

運営施設

- ・かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」(平成16年5月～)
- ・千葉県立中央博物館ミュージアムショップ(平成26年4月～)

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。

また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

千葉事務所のスタッフ
毎回一言つぶやきます。
お見逃しなく!

■久しぶりに「五七五の十七文字」と「季語」からなる俳句に触れました。森羅万象の世界を十七文字の中に読み込むために、凍結した心と頭がどれだけ解凍するか見ものです。
(オーシャン)

■田の畔にハルリンドウとキンボウゲが咲いていた。久しぶり！(サニー)

■どんよりとした梅雨空も楽しみだが、梅雨明け直後の青空がもっと楽しみ。
(ボクサー)

■インドでは熱波で死者が出ている。50℃とは人の生活すべき気温ではない。日本は？
(ぺったん)

■夏休みキャンプの募集が始まりました。多くの子どもたちに、自然体験のチャンス！
(たこはち)

■初夏は大好きな季節の一つ。残雪の山々。山麓の新緑。水温み動き出す魚達。素敵なき季節の始まり。でもやっぱりこの季節の一番は「かつおの刺身」かな。(アリ)

■自分の発する言動は、いかなることも伝播することを痛感。より良い伝播を修行中！
(けろっぴ)

■暑い夏。子どもだけでなく私たち大人もたくさんチャレンジを！と思う季節です。
(かつを)

■夏が始まります！外の暑さに負けない、心の熱さでのりきろう！(のりべん)

■今年の夏も暑くなりそうです。積極的に水分補給しましょう。(らうす)

《編集後記》

夏生まれ&南方系のDNAを持つ私の大好きな季節、夏がやってきました！太陽の力を元気の源に♪楽しんでいきましょう♪(かみい)

認定NPO法人を目指して～ご寄付お願い～

寄付金額が3,000円以上である寄付者様を募集しています。当法人の活動にご理解、ご支援いただける方はぜひご支援ください。

▼振込先▼(郵便局)

【郵便振替口座番号】00170-5-259431

【加入者名】特定非営利活動法人 千葉自然学校

【寄付金額】3,000円より

※領収書を発行いたしますので、お名前、ご住所、ご連絡先を必ずご記入ください。

発行： NPO法人 千葉自然学校

千葉自然学校ニュースレター(年4回発行)

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：http://www.chiba-ns.net メールアドレス：info@chiba-ns.net

